



# スタッフおすすめ図書コーナー

ているる図書情報室 2階

## NEW 6月の新着図書



書名	著者	テーマ	書名	著者	テーマ
沖縄県知事：その人生と思想	野添文彬	郷土	依存症ってなんですか？	菊池真理子	コミック 依存症
戦争と平和の谷間で	野崎文子	郷土	高良留美子全詩 上下	高良留美子	詩集
中沢啓治著作集 3 (オキナワ)	中沢啓治	郷土	荒地の家族	佐藤厚志	小説
なぜ男と女は4年で嫌になるのか	姫野友美	心理学	嫉妬 事件	エルノー 著 堀茂樹 訳 菊地よしみ 訳	小説
カルトの花嫁 宗教二世洗脳から抜け出すまでの20年	冠木結心	宗教	母と子のおやすみまえの 小さなお話	渡辺弥生 監修	児童書
青年海外協力隊の虚像 天下りの温床	石橋慶子	ボランティア	ちからもちのおかね	中脇初枝 再話 伊野孝行 絵	絵本
「女の痛み」はなぜ 無視されるのか？	アヌシェイ フセイン 著 堀越英美 訳	女性問題 人種差別	アナと雪の女王ハートいっ ぱいのピクニック	うさぎ出版	絵本
マンガでわかる 私って、ADHD脳!?	司馬理英子	ADHD	ノタンぶらんこのせて	おおともやす おみ さちこ	絵本
母のお酒をやめさせたい	三森みさ	依存症			
ハンドメイドベビー服enannaの 80~120センチサイズの男の 子と女の子のパンツ	朝井牧子	ハンドメイド			
昭和史：コミック 第5巻 (太平洋戦争後半)	水木しげる	コミック			



**100万回死んだねこ  
覚え違いタイトル集**  
福井県立図書館(編著)  
講談社  
015.2 / 7

この本では、図書館の業務の一つであるレファレンスサービスの中で利用者がこれまで覚え間違えた本のタイトル集を掲載している福井県立図書館の中で厳選した90件の覚え違いのタイトルや本の紹介、司書の仕事などについて書かれている本です。本の内容がとて面白くスタッフは利用者がどのような本を借りたかったのか予想しながら読み進めていました。図書館と本について楽しみながら読み進められる一冊でオススメです。



**黄金言葉**  
仲村優子(編著)  
琉球新報社  
K 388.8 / 7

昔から沖縄にあることわざである黄金言葉(くがにくとよば)について書かれており、ことわざだけではなくことわざの意味やどういった場面で使われることわざなのかなどを分かりやすく解説しています。この本を読んでみまして、初めて知るウチナーグチやことわざが多くことわざの深い意味やウチナーグチの意味について勉強になりました。言葉の意味について考えさせられる一冊となっています。



**心理学でわかる  
ひとの  
性格・感情辞典**  
渋谷昌三(監修)  
朝日新聞出版  
141.9 / 7

性格・感情についてや人の性格・感情辞典、心理学でわかる人との付き合い方などについて書かれています。人の性格・感情辞典のところでは、性格・感情の意味や類義語、対義語について分かりやすく書かれています。スタッフがこの本を読んで印象的だったのが、一般的に良い意味、悪い意味で見られることがある性格・感情が一般的な良い意味、悪い意味がありながらも実は別の側面で見ることができたことでした。性格・感情には二面性があることや言葉の深さに改めて気づかされる一冊です。



**一緒にいると  
楽しい人、疲れる人**  
有川真由美(著)  
PHP研究所  
361.4 / 7

この本では、一緒にいると楽しい人の特徴や反対に疲れる人の特徴についてまとめてあり、一緒にいると楽しい人になる方法や疲れる人に関わる際の対処法について書かれている本です。スタッフはこの本の中で会話で途切れたときに役立つ合言葉である「て・き・に・ち・か・し」というものや贈り物のレスポンスは「ちゃん」とするより「すぐに」しようといった部分について印象に残っています。人間関係について考えさせられる一冊です。



**「上手な説明」の  
基本とコツ**  
鶴野充茂(著)  
学研パブリッシング  
336.4 / 7

打ち合わせやプレゼン、メールなどの様々な人に上手く説明するための方法について書かれている本です。スタッフはその中で上手く人に説明するための方法の一つとして説明しながら聞き手の反応をみるという部分での目や口などの聞き手の反応の4つのチェックポイントの部分やメールの書き方の部分で初めて知りまして参考になりました。



**僕の人生には  
事件が起きない**  
岩井勇氣  
新潮社  
779.1 / 7

テレビやラジオ、ライブなどで活躍されているお笑いコンビ「ハライチ」の岩井勇氣さんが日常生活をする中で思ったこと、そして相手である澤部佑さんについて書かれている本です。スタッフはこの本の中で特に岩井勇氣さんの現代アートに対する考え方や麻雀の話、そして本の最後のおわりにの部分がとても興味深く印象に残っています。「このような考え方もあるのか」と楽しく読ませていただいた一冊です。



**妻が口を  
きいてくれません**  
野原広子(著)  
集英社  
726.1 / 7

夫婦関係について、夫の方から見た視点と妻の方から見た視点などについて漫画でわかりやすく書かれている本です。スタッフは平凡ながらごく平和に暮らしていると思っていた夫が、なぜ妻が口をきいてくれなくなったのか、そしてこの夫婦関係はどうなっていくのだろうかについて気になりながら本を自然と読み進めていました。夫婦関係の問題について考えさせられる一冊です。



**愚の骨頂 続  
うさぎとマツコの  
往復書簡**  
中村うさぎ(著)  
毎日新聞社  
914.6 / 7

作家として活躍する中村うさぎさんとエッセイスト、コラムニストとして多くのテレビ番組に出演されているマツコ・デラックスさんが週刊誌である「サンデー毎日」で往復書簡という形で連載された内容をまとめた本である『うさぎとマツコの往復書簡』の第2弾となる本です。今回はメディアや東日本大震災、AKB48などについての考えを本音でお互いに語り合っている本です。中村うさぎさんとマツコさんの村度なしの様々な話題についての考え方が面白かったです。



ているるHPから蔵書検索もできます！  
<http://www.tiruru.or.jp/facility/library.html>



QRコード